



- ①よさを伸ばし合う子ども
- ②つながりを大切にする子ども
- ③自らとふるさとを拓く子ども

よりよい八森小学校にするために

## 前期児童会総会がありました

～65人の笑顔かがやけ 最強 八森っ子！～

おはようございます!!



5月1日(月)の5校時、3年生以上が参加して児童会総会が行われました。各活動委員会の委員長からの活動紹介の後、各学級からの要望や提案があり、委員長が答弁をしました。

どの質問や答弁からも、この学校をよりよくしたいという気持ちが伝わってきました。

今年の児童会テーマは「65人の笑顔かがやけ 最強 八森っ子」です。児童会は子どもたちが主体となって行う活動であり、この活動を通して、自主的・自発的な態度と社会性を養い、実践力を育てることを目標としています。よりよい八森小学校にしたいという65人一人一人の思いを実現するため、この児童会総会を節目にさらに児童会活動が活発になって、八森小学校のパワーが盛り上がっていくことを期待しています。



議事の前に、各学年の学級目標を紹介しました。



## 事故のないIGW(ゴールデンウィーク)を!!

明日から5日間の休みに入ります。事故のない楽しい連休を過ごすために、次のことにも気を付けましょう。

【道路の横断の仕方について】

- ①「横断歩道」、「歩道橋」、「信号機」の利用
  - ・近くにあるときはそまで行って横断
- ②横断の意思表示と安全確認
  - ・「立ち止まる」、「左右をよく見る」
  - ・手を挙げるなど、横断する意思を車に明確に伝える
  - ・車が止まっていることを確認する
- ③横断中も「左右をよく見る」



児童会テーマについて、具体的な取組を縦割り班で話し合いました。



今日5月2日は何の日でしょうか。

『緑茶の日』、『郵便貯金の日』などいろいろありますが、今日は『えんぴつ記念日』でもあります。

140年ほど前に日本に鉛筆工場が作られ、えんぴつが初めて生産されたのが今日であるということです。

みなさんが毎日使っているえんぴつですが、いろいろな工夫がされていたり、おどろきの数字がかくされていたりと、えんぴつはとてもすばらしく、おもしろい用具なのです。今日はその中の2つをしょうかします。

[1] えんぴつはなぜ6角形なのでしょう？

①ころがってつくえなどから落ちないようにするため

②持ちやすいため…えんぴつの正しい持ち方は、必ず親指、人差し指、中指の3点で押さえる  
→正しい持ち方ができれば、しせいがよくなり、集中力がつくといわれています

[2] えんぴつ1本でどれくらいの長さの線を引けるのでしょうか？

○50キロメートル (八森小学校から五城目町のイオンくらい)

※ボールペンは1.5キロメートル (八森小学校から旧八森中学校くらい)

※シャープペンシルは240メートル (八森小学校のグラウンド一回りくらい)

1本のえんぴつを最後まで使い切るのはむずかしいですが、学校やおうちでえんぴつを正しい持ち方で大切に使うことが、よいしせいでたくさん勉強することになりますね。がんばってみましょう。



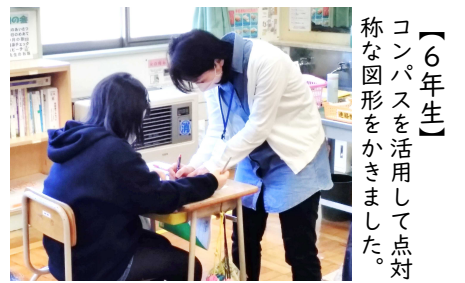
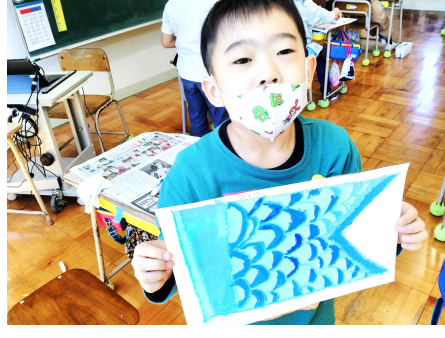
書写教科書(東京書籍)より

# 授業の様子から



【2年生】自分で描いたこいのぼりに水彩絵の具で色づけです。個性豊かなこいのぼりの完成です。

【3年生】行く手を邪魔する相手をかいくぐりながら、お宝をゲットする「宝とり」ゲームに夢中です。



【6年生】コンパスを活用して点対称な図形をかきました。

【1年生】動画を見ながらマスキングの練習です。そろってます！

【5年生】#ソのふき方をマスターすることをねらいとして、リコーダーに挑戦です。



【4年生】人体骨格模型「スケルトン君」を使って、体のつくりを学習しました。皆、「スケルトン君」に興味津々です。



「校長先生、さようなら」  
 今日も一年生が校長室前で帰りのあいさつをしてくれました。  
 「明日もよろしくお願いします。」  
 の言葉に、思わず笑みがこぼれます。中には、「これからもよろしくお願いします。」と、ぺこりとお辞儀する子も。こちらが恐縮してしまうくらい立派なあいさつに、襟を正されることも、「さようなら」ではなく「こちらこそ。ありがとう」という言葉が口からこぼれてしまいます。  
 「ありがとう」の反対の言葉は何でしょう。「ごめんなさい」でしょうか。それとも「どういたしまして」でしょうか。意味です。「ありがとう」は「有ることが難しい」の意対の言葉は、「当たり前」ということになりません。「言い換えるならば、当たり前ではないことでも、私たちがの生活を振り返ったとき、何事も特別なことに対しては「ありがとう」とも使ったり前のことを当たり前に行動に移すことこそが難しい、つまり「有ることが難しい」ということなのではないでしょうか。  
 今年三月、WBCで大谷翔平選手がMVPに輝いたのは記憶に新しいところですが、過去のWBCで活躍したイチロー選手は、「小さいことへ行くただひとつの道」と言っています。この言葉もそうした考えが根本にあるような気がしません。  
 「毎日、元気なあいさつをする」、「毎日、早寝早起きをする」、「毎日、家庭学習に取り組む」、「毎日、当たり前のことを地道に繰り返すこと、新しい自分が出てくるのを待っています。」  
 「毎日、元気なあいさつをする」、「毎日、早寝早起きをする」、「毎日、家庭学習に取り組む」、「毎日、当たり前のことを地道に繰り返すこと、新しい自分が出てくるのを待っています。」

つぎ  
**「当たり前」の先には**

